

花咲く春です。進級、進学、おめでとうございます。

こんにちは。進路係です。今年は暖かくなるのが早く、蟻高生に春の訪れを教えてくれる校門の桜は散り始めています。それがまた、皆さんに新たなスタートを促すサインというかシグナルにも見えます。

1年生は初めての高校生としての生活が、2年生は久しぶりに後輩に背中を見せる生活が、3年生は最上級生としての、また受験生としての生活が、それぞれスタートします。毎日が不確かなまま始まり、わからないことばかりで、不安もあるかもしれません。でも、不確かという事は自由ということでもあります。描く未来像を1つだけではなく100通り、もしくはそれ以上持つことができます。色々なことに挑戦してみましょう。うまくいかないことも当然ありますが、それらも無駄じゃないです。

また皆さんの周りには、友人や保護者の方や蟻高職員がいてくれて、皆さんを応援してくれます。うまくいなくて困ったときにはそこへ戻り、エネルギーを充電し、またスタートを切りましょう。

ところで、進路係とは、皆さんが進路実現できるようサポートする係です。担当しているのは、次の職員です。よろしくお願いします。

佐久浩信（地歴公民）	} …進路指導室
猿田順美（英語）	
竹内恵美（英語、3学年担当）	
水野欽透（国語、3学年担当）	
横内錠嗣（国語、2学年担当）	
藤原一史（地歴公民、1学年担当）…社研	
須藤麻夕子（英語）…英研	

また、進路指導室と進路資料室には、進路関連の資料や、受験生には必須の赤本（大学別過去問題集）などが多数揃っています。赤本は貸し出しもしています。場所は、いわゆる蟻の塔がある音楽棟1階の北東の角で、音楽室の真下

です。校内を散策するついでにでも、気軽に立ち寄ってみてください。

## クラブ活動へ入るにあたり

1年生はクラブ活動への入部届を、2・3年生は継続願を、それぞれ提出することになりますね。入部の理由は、書けましたか。例えば「バスケがしたいです…」「吹奏楽が好きだから。」と、自分の〇〇愛を書き連ねたり、「中信大会で優勝したい」「AHD30で新たなことをやってみよう」とチャレンジ精神を高く掲げたりするのもよいですが…。そこに進路係として付け加えてほしいことがあります。それは、「そのクラブ活動を通して自分のどのような面を成長させたいのか」「そのクラブ活動に対して自分がどのような役割を果たしたいのか」ということです。これらを入れるだけで、グッと深い内容になりますし、クラブ活動への取り組み方もより深まると思います。「2年間やってきたので、最後の1年も頑張りたい。」と1行で終わってしまうことのないようにしましょう。3年生には話しましたが、大学受験などでは、色々なことに、このように考えながら取り組むことが求められています。

